



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東北新社
 コード番号 2329 URL <https://www.tfc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 二宮 清隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 伊藤 良平 TEL 03-5414-0211
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	28,694	△1.5	1,542	275.8	1,771	235.7	989	—
2019年3月期第2四半期	29,117	△2.5	410	△69.7	527	△67.9	△2,294	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 604百万円 (ー%) 2019年3月期第2四半期 △1,615百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	22.01	—
2019年3月期第2四半期	△51.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	90,691	69,892	76.5
2019年3月期	91,854	70,003	75.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 69,394百万円 2019年3月期 69,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,128	1.0	2,549	55.3	2,774	31.7	1,382	—	30.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	46,735,334株	2019年3月期	46,735,334株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,786,780株	2019年3月期	1,786,780株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	44,948,554株	2019年3月期2Q	44,948,555株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高28,694百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益1,542百万円（前年同期比275.8%増）、経常利益1,771百万円（前年同期比235.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益989百万円（前年同期は2,294百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 広告プロダクション

広告プロダクションの売上高は、前年同期に比べ0.6%減の12,377百万円となり、営業利益は前年同期に比べ31.7%増の1,138百万円となりました。CM制作部門において制作受注は前年同期並みとなりましたが、利益率の改善により、増益となりました。

② コンテンツプロダクション

コンテンツプロダクションの売上高は、前年同期に比べ3.7%増の6,490百万円となり、営業利益は前年同期に比べ275.5%増の518百万円となりました。音響字幕制作部門の受注が好調なこと、またデジタルプロダクション部門の事業再構築による費用減や利益率の改善も寄与し、増収増益となりました。

③ メディア

メディアの売上高は、前年同期に比べ7.3%減の7,458百万円となり、営業利益は前年同期に比べ908.9%増の213百万円となりました。前年同期にあった大型イベントが当第2四半期にはなかったことや、関連チャンネルの再編に伴い売上が減少しました。利益面においては、4K関連設備の償却費の負担増等がありましたが、関連チャンネルの運営効率化による費用減により、増益となりました。

④ プロパティ

プロパティの売上高は、前年同期に比べ4.3%増の3,036百万円となり、営業利益は200百万円（前年同期は141百万円の営業損失）となりました。『牙狼<GARO>』関連の売上が増加したことに加え、前年同期の大型映画作品やアニメシリーズ作品の償却費等が、当第2四半期は発生しなかったことにより、増収増益となりました。

⑤ 物販

物販の売上高は、前年同期に比べ1.6%減の3,094百万円となり、営業損失は18百万円（前年同期は47百万円の営業損失）となりました。業務用記録メディアの販売減少により、売上は減少しましたが、各部門での利益率改善等により、損失は縮小しました。

(注) 上記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んだ金額を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、90,691百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,162百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金の増加1,978百万円、受取手形及び売掛金の減少4,463百万円、映像使用権の増加795百万円及び仕掛品の増加791百万円等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、20,799百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,051百万円減少いたしました。この主な要因は、買掛金の減少505百万円、未払金の減少327百万円、前受金の増加333百万円及び繰延税金負債の減少169百万円等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、69,892百万円であり、前連結会計年度末に比べ111百万円減少いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加270百万円及びその他有価証券評価差額金の減少356百万円等であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ2,424百万円増加し28,061百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、3,853百万円（前年同期は1,394百万円の増加）となりました。これは、たな卸資産の増加1,597百万円、法人税等の支払735百万円等による資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上1,765百万円、売上債権の減少4,463百万円等による資金の増加があった結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、395百万円（前年同期は318百万円の減少）となりました。これは、定期預金の払戻による収入5,293百万円等による資金の増加があったものの、有形固定資産の取得による支出298百万円、無形固定資産の取得による支出270百万円、定期預金の預入による支出4,929百万円等による資金の減少があった結果であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、1,004百万円（前年同期は1,237百万円の減少）となりました。これは、配当金の支払719百万円、リース債務の返済による支出153百万円等による資金の減少があった結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の見通しは、デジタルプロダクション及びメディアの事業再構築による各種改善が順調に進捗しておりますので、2019年5月17日に発表済の2020年3月期の業績予想については、変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づいて作成しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,879	29,857
受取手形及び売掛金	17,247	12,783
有価証券	831	825
映像使用权	5,697	6,493
仕掛品	2,905	3,697
その他のたな卸資産	610	621
その他	830	1,047
貸倒引当金	△27	△37
流動資産合計	55,974	55,287
固定資産		
有形固定資産		
土地	12,967	13,359
その他(純額)	7,052	6,925
有形固定資産合計	20,019	20,284
無形固定資産		
のれん	111	55
その他	641	752
無形固定資産合計	752	808
投資その他の資産		
投資有価証券	12,849	12,173
その他	2,484	2,313
貸倒引当金	△227	△176
投資その他の資産合計	15,107	14,310
固定資産合計	35,879	35,403
資産合計	91,854	90,691

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,740	10,234
短期借入金	990	860
未払法人税等	683	708
賞与引当金	785	733
その他	3,755	3,790
流動負債合計	16,955	16,327
固定負債		
役員退職慰労引当金	426	284
退職給付に係る負債	2,736	2,735
その他	1,733	1,452
固定負債合計	4,895	4,471
負債合計	21,851	20,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,487	2,487
資本剰余金	3,731	3,731
利益剰余金	62,352	62,622
自己株式	△1,728	△1,728
株主資本合計	66,843	67,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,649	3,293
為替換算調整勘定	△334	△512
退職給付に係る調整累計額	△598	△499
その他の包括利益累計額合計	2,717	2,281
非支配株主持分	442	497
純資産合計	70,003	69,892
負債純資産合計	91,854	90,691

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	29,117	28,694
売上原価	23,067	21,594
売上総利益	6,050	7,100
販売費及び一般管理費	5,639	5,558
営業利益	410	1,542
営業外収益		
受取利息	12	15
受取配当金	64	76
為替差益	—	75
出資金運用益	26	69
経営指導料	50	50
その他	53	58
営業外収益合計	207	345
営業外費用		
支払利息	4	4
持分法による投資損失	26	93
為替差損	36	—
支払手数料	17	12
その他	4	6
営業外費用合計	89	116
経常利益	527	1,771
特別損失		
減損損失	2,341	—
投資有価証券評価損	—	5
特別損失合計	2,341	5
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,814	1,765
法人税等	559	724
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,373	1,040
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△79	51
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,294	989

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,373	1,040
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	830	△356
為替換算調整勘定	△129	△173
退職給付に係る調整額	61	98
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△4
その他の包括利益合計	758	△436
四半期包括利益	△1,615	604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,535	553
非支配株主に係る四半期包括利益	△79	51

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,814	1,765
減価償却費	420	468
減損損失	2,341	—
のれん償却額	99	55
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	△39
受取利息及び受取配当金	△77	△91
支払利息	4	4
持分法による投資損益(△は益)	26	93
売上債権の増減額(△は増加)	2,607	4,463
たな卸資産の増減額(△は増加)	△137	△1,597
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,619	△505
賞与引当金の増減額(△は減少)	41	△52
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△0	△142
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	36	△0
前受金の増減額(△は減少)	324	333
前渡金の増減額(△は増加)	△46	△174
未払消費税等の増減額(△は減少)	0	89
繰延消費税等の増減額(△は増加)	△10	△4
その他	358	△217
小計	2,551	4,446
利息及び配当金の受取額	108	122
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額	△1,270	△735
法人税等の還付額	10	23
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,394	3,853
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△130	△298
有形固定資産の売却による収入	13	0
投資有価証券の取得による支出	△30	△0
無形固定資産の取得による支出	△156	△270
定期預金の預入による支出	△3,186	△4,929
定期預金の払戻による収入	3,240	5,293
その他	△68	△189
投資活動によるキャッシュ・フロー	△318	△395
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△130
配当金の支払額	△1,033	△719
非支配株主への配当金の支払額	△18	△11
非支配株主からの払込みによる収入	—	15
リース債務の返済による支出	△180	△153
その他	△5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,237	△1,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	△21	△29
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△183	2,424
現金及び現金同等物の期首残高	29,183	25,636
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,999	28,061

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告 プロダクション	コンテンツ プロダクション	メディア	プロパティ	物販			
売上高								
外部顧客への売上高	12,249	4,377	7,806	1,810	2,872	29,117	—	29,117
セグメント間の内部 売上高又は振替高	205	1,882	236	1,099	272	3,697	△3,697	—
計	12,455	6,259	8,043	2,910	3,144	32,814	△3,697	29,117
セグメント利益又は損失 (△)	864	137	21	△141	△47	834	△424	410

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△424百万円には、セグメント間取引消去△35百万円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)870百万円及び全社費用△1,259百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「メディア」セグメントにおいて、のれんの減損損失を2,316百万円計上しております。

また、各報告セグメントに配分していない全社資産において、固定資産の減損損失を25百万円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「メディア」セグメントにおいて、減損損失を計上したため、のれんが減少しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告 プロダクション	コンテンツ プロダクション	メディア	プロパティ	物販			
売上高								
外部顧客への売上高	12,236	4,457	7,309	1,900	2,790	28,694	—	28,694
セグメント間の内部 売上高又は振替高	141	2,032	149	1,136	304	3,763	△3,763	—
計	12,377	6,490	7,458	3,036	3,094	32,458	△3,763	28,694
セグメント利益又は損失 (△)	1,138	518	213	200	△18	2,051	△509	1,542

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△509百万円には、セグメント間取引消去△69百万円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)858百万円及び全社費用△1,298百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。